

1 記念館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

第3四半期の来館者数は、4,653人で、前指定管理期間の同四半期来館者数平均値(5,871人)と比べると79.3%にとどまる結果となった。判定評価表の「1利用の承認等に関する業務」における「入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか」の項目について、指定管理者に対して求めるべき水準に達しているとはいえ、本来は減点対象であるが、新型コロナウイルスの第8波における感染者数の増加や新たな変異ウイルスの流行による外出控え等が来館者減の要因となっていることや、一方で、今期については、鎌人いち場での子ども向けワークショップの出店や児童ホームでの上映会など、アウトリーチ活動を積極的に行ったほか、SNSと連携した参加型の展示によってTwitterのフォロワー数が2,000人となるなど、広く記念館の周知を図っており、今期指定管理期間で2番目に多い来場者数であることから、来館者確保のための取組努力も認められるため、不可抗力と認め、減点なしとする。

月別来館者数:1,409人(10月)、2,320人(11月)、924人(12月)

2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・ 通常の設定保守・点検等が適切に実施されている。
- ・ 館内環境について適宜報告があり、記念館の環境維持に配慮した施設管理を実施している。

● 資料等の維持管理

- ・ 施設の特性を考慮しつつ、適正な維持管理が行われている。

3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務

● 上映及び展示

- ・ 展示事業は、9月中旬から始まった特別展で、小津安二郎と市川崑という2人の映画作家を〈デザイン〉の視点から検証し、映画作家としての背景や作品の中に見られる美学的要素等について資料展示を行った。開催期間中に旧和辻邸の一般公開・特別公開も重なり、一日の平均観覧者数は40人と好評であった。12月18日からは「映画の分類学入門—ジャンルで読み解くハリウッド」がスタートしており、ハリウッド映画の代表作から古典的名作まで、各ジャンルの歴史や特徴を幅広く紹介している。
- ・ 上映事業は、特別展に関連した作品の上映を行い、関連したトークイベントや今回初となる1日2回のミニトークは、いずれも40名以上の方に参加いただくなど、多くの観覧者に上映作品をより深く知るための機会を提供した。

● 調査、研究及び情報提供

- ・ 次期展示事業のため、国立映画アーカイブや関係者等を訪ね、資料調査、資料下見等を行っている。
- ・ 友の会限定散策ツアーに向けて、周辺地域や映画との関わりを調査し、しおりとして配布を行った。
- ・ 情報資料室において映画資料や関連図書等の情報提供を行った。

● 広報及び宣伝等

- ・ 市広報に展覧会や上映内容などの情報を掲載しているほか、市役所本庁舎内のモニターによる広告及び鎌倉駅の地下道ギャラリーも利用し、より多くの市民等に向けて広報及び宣伝等に努めた。
- ・ 展示内容に合わせて『秋刀魚の味』セットを再現したフォトスポットを設置し、SNSとの連携を行った結果、Twitterのフォロワー数が増加するなど、記念館の集客に向けた宣伝につながった。

● その他の事業

- ・ 特別展に合わせて、市川崑と小津安二郎にゆかりのある場所を訪ねる友の会会員向け散策ツアーを開催し、会員に対し入会特典の充実度を高めるとともに、鑑賞とは異なる観点から鎌倉と映画のつながりを再発見する機会を提供した。
- ・ 11月に実施したシネマウィークでは、日本語字幕や音声ガイドを活用したバリアフリー上映を行い、より多くの市民等が映画を楽しむことができる機会の確保に貢献した。
- ・ かまくら世界映画週間では、ウクライナの映画に目を向け、現地で取材を行ったジャーナリストの新田義貴氏によるトークイベントを行った。

4 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・ 例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている。
10月分:11月14日、11月分:12月14日、12月分:1月13日提出

● 事故・苦情対応

- ・ 旧和辻邸土間の雨戸のつかえ棒が外れ、板戸の一部が外れたため、応急処置を行った。
- ・ キャッシュレス決済の希望が8件寄せられたため、今後の検討課題とした。
- ・ 旧川喜多邸別邸特別公開にて来場者のスマートフォンが作品の上に落下し破損したため工芸会と来場者で対応について協議を行い、翌日から会場内でのスマートフォン等の使用を禁止することで対応を行った。
- ・ 上映予定の『ドンバス』は事実と異なる部分があり、鑑賞者に正しい情報が伝わらないとの意見が寄せられたため、「かまくら世界映画週間」の趣旨を説明し、前説やトークイベントで適宜補足する旨を伝えた。
- ・ 女子トイレの一箇所が詰まったため、スタッフが対応し、今後の様子を見ながらトイレットペーパーの使用量など注意喚起を検討することとした。
- ・ 窓口で友の会入会直後の方からチケットの予約を希望され、予約は電話のみであることについて納得できないとの意見があったため、その場で予約とすることで対応を行った。今後は、原則は変えないものの、入会と同時に予約する際のみ柔軟に対応するなど、検討していくこととした。
- ・ 障害者手帳で入館された方から、展示料金は無料になるのに映画料金には減免がないことについて意見があったため、映画料金に展示料金が含まれているのではなく、映画の観覧者は展示も見ることができの方針である旨の説明を行った。
- ・ コロナ感染対策のため撤去している顔出しパネルについて問合せがあったため、今後、感染対策を徹底したうえで設置することとした。
- ・ 市民の方から、チラシを大量に投函されて迷惑との苦情があったためスタッフが回収に伺った。(後日、他のチラシも大量にポストインされていたため、被害届を提出したとの報告あり)
- ・ その他、事故や苦情等があった際には、内部で情報共有を行い、速やかに対応策を検討し、対応している。

● その他

- ・ キュレーターによる上映後の上映解説や展示解説を実施することにより、観覧者の満足度を高めるとともに、リピーターの獲得に努めている。
- ・ 10月からインター生の受け入れを行い、次世代の映画文化の担い手に対し、映画・映像に関する知識を深める機会を提供している。
- ・ 鎌人いち場での子ども向けワークショップの出店や児童ホームでの上映会など、子どもたちが楽しく映画の知識を学べる機会を提供し、映像教育の普及に努めたことを評価したい。
- ・ 近隣文化施設4館と連携して「ミュージアムめぐりスタンプラリー」を実施し、記念館のアピールに努めた。

5 全体評価

- ・ 上映事業の観覧者数は、前年同期に比べ892人、39.3%の減となった。トークイベント等の特別上映は、全て40名を超える参加があり好評だったものの、通常上映の観覧者数が想定ほど伸びなかったことが主な要因と考えられる。引き続き、幅広い世代を呼び込むことのできる魅力的なラインナップの検討及び効果的な広報・周知活動に努めてほしい。
- ・ 旧和辻邸の一般公開及び特別公開を行い、観覧者に対し、景観重要建造物である旧和辻邸の建築的価値を広めるとともに、市民等が様々な文化に触れられる場所として旧和辻邸の活用に取り組んでいる。記念館への来場者確保にもつながっていることから、企画展示と関連したイベントの実施場所とするなど、引き続き、旧和辻邸の活用について検討を進めてほしい。
- ・ 施設の維持管理などの業務に関しては、日常点検をはじめ、細やかな報告が徹底されており、施設管理者に対して市が求める水準に達している。

令和4年度第3四半期判定評価表

【鎌倉市川喜多映画記念館】

評価項目	判定点	第2四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
資料等の維持管理			
資料等の維持管理は適切に実施されているか	5	○	
3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務			
上映及び展示			
計画どおりに企画展が開催されているか	5	○	
予定どおり映画上映が実施されているか	5	○	
調査、研究及び情報提供			
映画関連資料等の調査・研究を行っているか	3	○	
研究の成果を公開しているか	3	○	
その他必要な業務			
展示・上映以外の事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%